

2022年3月3日（18：00～18：45）

小児接種に係るWeb講習会

- （1）5～11歳小児への新型コロナワクチン接種の考え方
- （2）新型コロナワクチン接種に関する小児の基礎疾患の考え方
- （3）小児に対するワクチンの筋肉内接種法について
- （4）新型コロナワクチン接種前、接種中、接種後の注意点

福島県立医科大学小児科

細矢 光亮

予防接種ストレス関連反応 (ISRR : immunization stress-related responses)

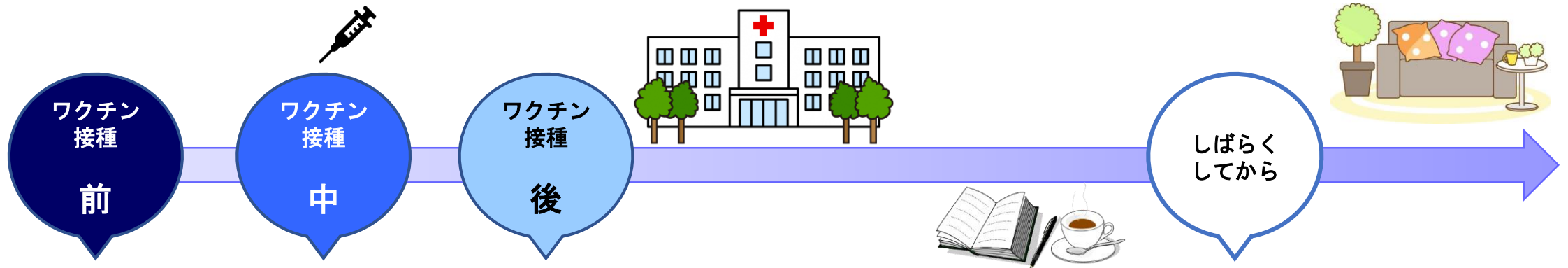
ワクチン接種と関連のある反応（副反応）


- ワクチン成分⇒アナフィラキシーショック、局所反応、発熱、感染症状（生ワクチン）
- 接種を行う際の間違い⇒BCGを皮下接種
- 予防接種に対する不安⇒**予防接種ストレス関連反応（ISRR）**

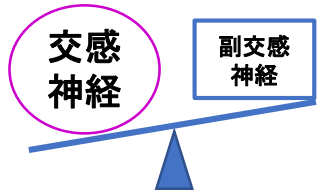
ISRRには2種類ある

- ワクチン接種前、接種中、接種直後
 - 急性ストレス反応**⇒交感神経症状（頻脈、動悸、呼吸数増加、発汗など）
 - 血管迷走神経反射**⇒副交感神経症状（立ち眩み、めまい、血圧低下、失神など）
(アナフィラキシーとは別の反応)
- 接種後しばらくしてから
 - 解離性神経症状反応（転換反応）**
 - ⇒麻痺、脱力、不自然な手足の動き、感覚異常、痙攣様など
病巣が推定できない、神経に関連した様々な症状
(**HPVワクチン接種後に見られた多彩な症状**)

予防接種ストレス関連反応（ISRR）の種類と出現時期

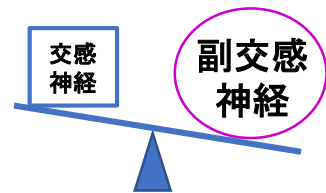


 接種前・中・直後（通常5分以内）
に起こる反応




交感神経が刺激されて起こる

①急性ストレス反応



副交感神経が刺激されて起こる

②血管迷走神経反射

 接種後しばらくしてから（数日以降）
に起こる反応

接種後しばらくしてから起こる

③解離性神経症状反応
(DNSR)

これら①～③を**予防接種ストレス関連反応 (ISRR)**と呼びます。

予防接種ストレス関連反応（ISRR）を 起こしやすい人の特徴

- 主に10歳代、女性に多い
- これまでに血管迷走神経反射による失神を起こしたことがある
- これまでに注射した後に不快な経験をしたことがある
（痛みや血管迷走神経反射による失神など）
- 注射を怖がる
- 不安障害や発達障害（特に自閉スペクトラム症）がある

ワクチン接種前、接種中、接種後の注意点

接種前

- 接種の**意義、有効性、安全性**（いつ、どのような副反応が起こるか）などを**説明**し、**保護者と本人の同意**のもとで接種する。⇒**ISRRの予防にも重要**

接種中

- 児にとって**適切な部位に適切な量を適切な方法で接種**する。
- 接種直後の**アナフィラキシー**や**血管迷走神経反射**に注意する。

接種後

- 接種後数日は接種部位の**局所反応**（発赤、腫脹、疼痛など）や**全身症状**（発熱、倦怠感、頭痛など）に注意。
- 接種後数週間は**リンパ節腫脹、心筋炎**に注意。心筋炎では、**接種後4日程度**の間に、**胸の痛みや動悸、息切れ、むくみなどの症状**があらわれることがあるので、その場合は医療機関（小児科）を受診するように伝える。
- **解離性神経症状反応**が疑われた場合には、専門医療機関の受診を勧める。